

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第 35 号(平成 27 年 6 月発行)

平成 26 年 12 月 18 日(木)に平成 26 年第 4 回定例会が開会され、12 月 25 日(木)に一般質問と議案 6 件の審議が行われました。

一般質問では、下野幸助議員(三重県議会選出)、笹岡秀太郎議員(四日市市議会選出)の二人から下記のとおり管理組合執行部の見解を質しました。

主な質問・答弁要旨

下野幸助 議員



○ **四日市港の災害時の緊急物資輸送の行動計画では、発災から 72 時間後の緊急物資輸送開始に向けた関係機関の役割が整理されている。この中で、管理組合は 23 号岸壁に接続する港湾区域内の航路啓開等を行うことになっているが、具体的にどのように取り組んでいくのか。**

◎ 災害発生時、管理組合は、港内巡視船による海上・海中の状況把握、ヤードや臨港道路等の目視による施設点検を行い啓開が必要な場合は三重県建設業協会四日市支部や四日市港運協会の協力を得て作業を実施する。こうした取組を実効性のあるものにするため、東日本大震災などで緊急物資輸送を経験した関係者から問題点や解決方法を学び、実際に被災場面をイメージした訓練や協議を行い、作業を担う関係団体と課題の抽出とその克服方法を確立し、新しい耐震補強岸壁の活用も含めた計画の見直しを進めていく。

笹岡秀太郎 議員



○ **多くの方に港を訪れていただくために、四日市港で毎年開催されているカッターレース大会を、平成 33 年に三重県で開催される国民体育大会のデモンストレーションスポーツとして開催できないか、管理組合の所見を伺いたい。**

◎ 「四日市港カッターレース大会」は、毎年 8 月に開催される四日市港まつりのメイン行事として四半世紀にわたって多数の県民・市民に親しまれている。カッターレース大会が国体のデモンストレーションスポーツとして開催されれば、四日市市民だけでなく、より多くの方に四日市港を知ってもらう絶好の機会となる。平成 29 年には、デモンストレーションスポーツとして実施される競技が決定される予定であり、まずは応募できるかについて、日本体育協会が定める実施基準や三重県が策定する実施要綱等を見ながら、三重県及び四日市市と協議を進めていきたい。

※詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。